

ほっぷ・ステップ・Jump!

(保っ父)

1998.05.05 Vol.35 発行:北海道の子どもと保父の会

総会報告

3月21.~22日 札幌テルメインターナショナルホテル(最初で最後の!)にて
ガックリ8名の参加で行われました。

<平成9年度の会費納入状況と支出状況>

会費収入(平成9年度分のみ抽出)16名	16,000
ほっぷ・ステップ・Jump郵送9回	14,550
封筒・インク・トナー	11,088
リフレ札幌使用2回	2,700
雑費	2,520

-14,858(普通預金で補填 あと2年もちません)会計より

御理解頂けると思いますが、大変苦しい現状です。

そこで、総会にてこのように決定されました。

会費未納入の方について、今まで未払い分を5月20日まで事務局へ郵送か銀行振込でお願いします。

会費納入が無かった場合は、会への脱会の意志があるものと考え、今後は機関誌の郵送は無くなりますので、御理解下さい。

尚、飲み会への誘い等は、会員が個人レベルで声をかけますので、お気軽に参加して下さい。

平成10年度は会の運営継続の為、年2,000円の会費に決まりましたので、よろしくをお願いします。

(受けつけスタートしています)

<今後の活動>

連絡網作成

5月の例会時には上記により現会員が確定している筈ですので、新たに連絡網を作成し、毎月連絡を流していきたいと思えます。

機関誌について

巻頭言を無くして、会員の方々の声を幅広く載せていきたいと思えます。

尚、会長としては、コーナーを作り毎月の活動報告や、etc.....を連載していきます。

順番としては

西村 畠山 細谷 浅利 大森
大泉 桑原 桂田 西村 です

このコーナーは、思うことを文章にしてもいいですし、絵でもかまいません。

なんでもOKなのです。自由に思うまま表現して下さい。

また、他会員も自由に連載を始められてもかまいませんし、その時に書きたいことをアピールして行って下さい!!!

今の予定 桑原氏「保父男くん」VS大森さん「保父造くん」

家村くん連載スタート

藤原くん「保育者になろう」連載中

西村 「保父の育児日記」連載中
みなさんも どしどし どうぞ。

ただし・・・

事務局より「紙面に載せる上で、カット位置や全体の構成をこれ以上独断でやり続けることに抵抗がある」とのことですので原稿依頼者は、必ずその記事の構成を考えたものを原稿と共に送って下さい。

〆切は毎月第4土曜日厳守です。事務局あてに送って下さい。

尚 原稿はなるべくフロッピーかメールで頂けると事務局の手間が減って助かります。

機関誌はみなさんの声によって成り立っているものです。大いにこの紙面を通して交流し合ひましょう。

<平成10年度 スケジュール>

例会 原則として毎月第3金曜日 19:00～

4月	－ 実践を語ろう会 レポーター西村	リフレ札幌	4月17日
5月	－ 会員決定 今後に向けて	幌北中央	5月22日
6月	－ 飲み会 in ススキノ 幹事 細谷		
7月	－ 実践を語ろう会 レポーター桑原氏(異年齢保育について) ～キャンプもまた行きたいネ～	リフレ札幌	
8月	－ 交流会に向けて	幌北中央	
9月	－ 実践を語ろう会 レポーター細谷	リフレ札幌	
10月	－ 交流会に向けて		
11月	－ 全道交流会 in Sapporo 11/7・8		
12月	－ 忘年会 幹事 家村		
1月	－ 新年会 幹事 藤原		
2月	－ 実践を語ろう会 レポーター家村と若手保育者たち	リフレ札幌	
3月	－ 総会 ～定山溪 溪流荘にて～		

となっております。

1. 実践を語ろう会について

保父会の中で「もっと保育について語れたらいいね」という声が若手を中心に高まってきています。そこで、一人のリポーターの実践をたたき台にしながら、皆が自由に「自分の保育で楽しいこと、困っていること」等々を出し合える場を作れたらと思いました。男達の語らいを大切にしたいですね。たくさんの参加をお待ちしています。

2. 全道交流会について

昨年度実現しなかっただけに、今年度はぜひ行なっていきたいと思っています。帯広、旭川の方々と交流できると思うと今からワクワクしますね。～今後につめていきます～

実行委員 ー 西村、畠山、大森、桑原

<役員改選>

平成10年度 会 長 西村
サ ブ 畠山
事 務 局 三村
会 計 浅利
会計監査 藤原

このメンバーでこの一年間を運営していきます。よろしくお願ひします。尚、通常の任期は2年ですが、暫定役員であることを了承願ひします。今年度の総会にて、再び役員を改選したいと思っております。

会長のひとりごと……

「ホフカイっていうのがあるから、そこに来たら、いろんな人の話が聞けて、いいと思うよ」と、その人は言った……
場所は忘れもしない 36号線口イヤルホスト。

私はその時大卒から一般企業へ就職していたネクタイマンだった。

大学の時、経済学部でありながらセツルメントという地域福祉系のサークルに所属していた私は、4年間その魅力に引き込まれていた。部長、北海道委員長等々あの大学生活は“セツルー色”であった。そんな私は一般企業人となっても、心のどこかに「地域福祉」への夢やあこがれがあった……

そんな時、セツルの部室に貼ってあった一切の記事を思い出す。

「北海道で初めての公立保父さん誕生」

“あの人に会ってみたい”そんな思いの中、やっとのことで連絡を取りつけた。それが前会長の桑原さんである。やさしさあふれる人だった。そして前文の言葉通りに保父会へ。今でもその時の緊張感を覚えている。23才の若者が見ずしらずの会に出向いての初めての出会い。そのコチコチな私を小田氏は暖かく向かえてくれた。その一言一言が企業を辞めてまで、この世界に飛び込んでいった私の心の不安を軽くさせてくれたものだった。話しを聞けば同じ大学の先輩であった。その時の私は「この先、この世界でやっていけるのだろうか」という気持ちで一杯だった。そんな私を桑原さんも、小田さんも、瀬尾さんも、船戸さんも、船山さんも、大泉さんも、みなさんであたたかく迎えてくれた。

その日の例会は学習会で「普通の詩をいかに感情豊かに表現できるか」というものだった。大の大人が「ウァファファァー」「コラー」「ウェーン」等々 別人のようになって笑ったり怒ったりしながら詩を読む。“うぁーなんという世界ダー”と思いつながらも、企業では味わうことのない人間味が一杯だったことを今だに忘れてはいない。

入会から東京に保母資格を取りに行くまでの半年間は様々な出会いの連続であったが、なによりも保父会の方々の熱き思いが今後の私に多大なるパワーとエネルギーを与えてくれた。

船山さんは私にこう言った。「オレは給与低くても、自分の子ども達に“とうさんはこんなに好きなことやってるんだぞ、と、いつでも胸をはって生きていたい。そんなオレの生きざまを見せていきたい」と。私はとても感動した。ほんとうに涙出るまで感動した。「私も船山さんのように言える人になりたい」それは私の保育者としての目標になった。あれから8年経ったが、つらいこと嫌なこと様々なことを乗り越えてこれたのも、あの一言が私に勇気を与えてくれているからだろう。だからこそこうやって保育者をやり通していけるのだ。いつか自分の子どもにそう言ってやれるのを夢見ながら……

小田さんは、東京へ行く私にこう言ってくれた。「西村、札幌に戻ってきたら、ひかり保育園に入れよ。空けておいてあげるからナ」と。そんなことを半年しかつきあいの無い私に言ってくれるとは少々驚いた。私も三年間悩んだこともあったが「生きがいとやりがい」そして「開拓」の気持ちを持って小田さんの紹介を喜んで受けた。今でもそれを後悔していない。小田さんが12年間大切に作り上げてきたこの園を引き継ぐことが出来、「小田さん」という目標に向かっていく私がいる……

保父会は私にとって今やなくてはならないものとなっている。この会を通して私は今、ここにいる。そんな私が「会長」として歩もうとしている。「保育士」元年という良きスタート。保父会10周年を終えての新たなスタート。私に何ができるといってもないが、一緒に「楽しもう」という仲間がいてくれる。私も今までの様々な人への恩返しを少しでもできたらいいと思う。自分がそうであったように。この会に行くことを楽しみにしてくれたり、安心感を持ってもらえたり、勇気を与えてあげられるような所にしていけたらと思う。

今、若い保育者が次々と保父会の門を叩いてくれている。そんな彼らに「未来への希望」を持てる場になればと思う。会員の方々も、積極的に若い力を勧誘して、この会の楽しさを広げてもらえたらと思っている。

「みんなで創ろう楽しもう学び合おうボクらの保父会！」という今年度のテーマに少しでも近づけるような場を目指して団結していこうではありませんか。

たった月一回の例会。その時の出会いを大切にしてください。一人でも多くの、そう あなたの参加が明日の保父会を豊かにさせていくのです。

共に盛り上げていきましょう！

四代目会長 西村 猛

4月例会報告

リフレ札幌 19:00~21:00 **なんと 10名!!**

参加者) 佐々木、高井、桂田、藤原、細谷、畠山、田口、大森、家村、西村

内容は、西村のH8年度 年長組担任時にまとめた実践報告レポートについての討論会でした。

前々からこういった「保育の話」をしたかった私にとって、とても楽しいひとときでしたよ。

それぞれの園のクッキングについて話が盛り上がり、佐々木氏が家の庭先のフキ取りを子どもらとしたことや、毎月全クラスクッキングをしている家村's園の話。

ひかり保育園の広大な畑の話等々、2時間がアツという間でした。(くわしくは、参加者にきいてね)

一つのレポートというたき台から、普段なかなかできない保父会メンバーの保育の話ができたこと、今までしらなかったその人の保育での姿が見えたりと、「こういった交流ってたのしいですね」<By藤原>の言葉通りの会合でした。

「西村さんの話で終わったじゃん」<Byわたる>

まあ、それもいいじゃん。 てなわけで 2回目に期待!!

次回 例会は 5/22(金) 幌北中央保育園にて行います。

今までの会費未納者は、5/20(水)までに 納入して下さい。今年度からの年会費は2,000となりました。

それを受けて、5/22では 正会員を決め、新たにメンバー表を作成します。

(納入がなかった場合、脱会の意志ありと判断させていただきます)

みんな集まれ~! 会長 西村猛

5/22当日、保父会終了後「余市方面に釣りに行こうツアー」開催!!

一竿とエサ持って行きたい人でねー

西村 猛

あの幻のほっぷ・ステップ・Jump21号を持ってた馬鹿がいた!

[10th Years Ago]

1998年 1月31日 土曜日

午後7時頃、保父の会、10周年記念パーティー会場につく。

案内状には、6時30分とするされていたので、どうせ保父の会のことだから、30分位の遅れなどいつものこと、と思いきや。会場内では、精鋭、24~5名の会員、新会員、諸氏がとっくにテーブルをかこんでいた。それも正装で…。なんたること(!?) やっぱりパーティーともなると、チト話がちがっていたみたいだ。

10年の歩みをするす、記念誌らしきものまでもが出されており、その中に、幻の21号(ホップ、ステップ、ジャンプ)賞金アリとあったので、後日家の中をさがしにさがし、事務局に送ることにしま~す。(他に送ったヤツ、いね~だろな~)賞金いただきです(!!) そんなヤツオメーだけだ(事務局)

事務局より返事があり、向こう3年間の会費とさせていただきます(ラッキー!!)

こまかいことですが、領収書下さい……………

しかし

みんな、元気だよなあ~

みんなの若さにおされっぱなしだもんなあ~年とったのかな~

最近、ぜんぜん、まったく保父会には顔出してなかったから そうだよなあ……………

みんなに会えて 元気をもらったような そんな気がします。

やっぱり もっと ガン ガン いかないと だめだよな。 できるだけ都合つけてこれからは参加するようにしま～す。
また、よろしく。(!!)

それから 何かの手ちがいで(手違いではありません船山選手のメッセージがあまりにも早く着きすぎたため事務局の大金庫に保管したのですが・・・わかったあ オレがワルイ そうやって、いつまでも攻め続ける オレのせいだ 三村)のらなかつた10執念、もとい10周年記念誌へのメッセージ、改めてここで書きしるしたいと思います。

《メッセージ》

子どもようになりたくて・・・

大人達がつくりあげている社会の中で子ども達は、懸命に生きている。

子ども達の未来もそして現在も子ども達のものはず、なのに・・・
子どもは、大人になるためにいま子どもでいるわけではないはず
もっと、もっと 大人達が、本気で、本音で、心を開いて子ども達の声に耳を傾けない限り、何もかわらない。大人であることの責任を、我々はもっと しっかり 自覚するべきではないのだろうか。
ナンバーワン でいるよりも、オンリーワンでいてほしい。
だって世界中であなたという存在はあなたしか いないのだから・・・ (おしまい)

船山 利洋

パパは保母さん ～ 保父の育児日記～

発寒ひかり保育園 西村 猛

祝 連載10回記念特大号！！

～ やったね、おめでとう 友希は2才!!～

「きょうの、おはなしは “ももたろう” さん。はじまり、はじまりー。パチパチパチ。やまへせんたくにいきました。ももたろうさんをつれていきました。ありがとうございます。パチパチパチパチ。」

こうして友希の語り部が始まり終わる。場内大爆笑。やがて第2部が静かに幕を開ける。

「こぶとのさんびき(三匹の子豚)、おはようございます。パチパチパチ」

そして、いなくなる・・・

我が家の、かみさんが作った友希専用のふみ台。ここがいつも彼女のステージになる。時にはうただって唄う。

「ぞ～さん、ぞ～さん、ぞ～さん、ぞ～さん、ぞ～さん、ぞ～さん、ぞ～」いつまでたっても、次に進まない。

「つぎ、パパしゃんうたってー」「つぎ、ママしゃんうたってー」と、3人交互に、エンドレスの宴会。人がステージでうたっていると、ちゃんと手拍子だって、体をゆらしてやってくれる。その姿のめんこいこと。

少し前までは、私達の言葉をリピートするだけだった友希。それが、2才をすぎた頃、自分の頭の中で、様々なことを考えながら、物語にしてみたり、表現してみたりと、ほんとに驚くことばかり。たかが2才、されど、されど2才なのである。

やはり「言葉」というのは最大のコミュニケーションなのだろう。友希といると、自分が話したことが相手に伝わり、反応してくれる姿を、とても楽しんでることが解る。すなわち、私は彼女の言葉によって、動かされているのである。

「パパしゃん、こちきて」「ここすわって」「ア・ア・パパしゃん、ちがうちがうこちだつてばー」その度、私は「ハイハイ」「ホイホイ」「ナンジャラベッカー」と、友希の言いなりになる。つい一年前の “何でもママと。” 状態を想うと、ほんとうに嬉しいこと。なにより一緒に遊べる。遊んでいて楽しいと思える日々。この時を待っていたのだーア！！

“西村友希のなわとび講座”

<使用するもの> こままわしのヒモ一本。

友希先生、ヒモを足の裏につけようとします。

「ももたろうさんがきてー、」と右足

「なずさんがきてー」と左足

「パパもやってー」パパやります。

「ちがう、ちがう!!」ギョッとパパがやりなおす。

「えーっと、ももたろうさんがきてー」と右足

「なすさんがきてー」と左足

これでどうだ・とばかりにパパは真似します。

友希先生、私を見て

「そう、そう!!」とうなずいています。

「友希、パパにもできました」とパパは安心してやります。友希先生、もう一度渡しを見て、「ちがう、ちがう!!」と、またまたエンドレス・・・・な、なにがちがうんだー どころがちがってるんだー えー!!

—なわとび講座 終—

言葉が一杯出てくると、それを楽しむ我が娘。人は彼女を「あまのじゃく子」と呼ぶ。

「サア、ごはんたべようー!!」

友「しない」

「パパと手洗おうかァー」

友「ママと。」

「ママと手洗おうかァー」

友「パパとあらうー」

「う・うん?うんち臭いぞー友希うんちした?」

友「パパした!!」

ぬれぎぬだーオレは、オレはしてないぞー

友「パパ プーしたー」

いつもはしているが今はしてないぞー

友「パパ プー」とお尻つき出し、手は山海塾風にアレンジし、踊りながら「パパ プー」「パパ プー」と生屁三連発。おそれいりました。

友希は確実に、パパのお尻を見て育てております。

「誉め殺し」その有効性。

人はだれも、誉められれば嬉しいもの。私なんて、バカの一つ覚えそのもので、なによりもそうされると「ホイホイ」と喜ぶ。かみさんは、それを十分知っているから、まっ—ほめる、ほめる。

「うあー今日のお米おいしー」(昨夜私がといたから)

「このラーメンにとろけちゃう~」(オレが作ったんだ)

「お皿ピッカピカ、水はけも最高!!」(オレが洗ったんだ)

「今日の湯かげん、ちょうどいー」(オレが風呂入れたんだ)

「今日、飲んでないみたい。まってよかったー」(呑み会だったけど、終電で帰ってきたんだよ)

「キャー今日の布団、きれいーフッカフカー」(オレがひいたんだ!昨日と同じでなんでフッカフカなんだーエー)てな具合。出来た妻だ。

友希も同様、おだてに弱い。「歯みがきしない」「トイレいかない」「服きない」「これ、たべな」等々

みなさんのお子さんも、そんな時期あったのでは?今、娘は、真っさかりー。しかーし、「誉め殺し」に彼女は・・・・

「歯の中にタコさん(我が家では汚れのことをタコさんと呼ぶ)いた。いたー。きれいになったら、クンクン臭いかがせてねー」友「しあげは、おとーうさんする」終了後、口を開ける友希。「クンクン」と臭いをかぐ私。「う~ん、いいにおいだーフローリア(そんな花はない!!)のかおりがするーたまんない~」ニッコリ友希。

「お尻きれいになったら、臭いかがせてよー」終了後、「パパーきれいになったよー」と半身バック状態でやってくる娘。

「クンクン。うお~春のかおりがするー。う~ん、いいにおいだーチューリップにおいだー」ニッコリ友希。

「この服、かわゆーい、これキティーちゃんでしょ、友希着た所みたいー。パパもかっこいいの着よーっと」

友「パパかっこいいのきるの?友希のかわいいんだよ」ホ、ホホー、またおだてに乗ってきたのー。終了後、「うあーお姫様がいるー、しびれるー、かわいー、チューさせてくれー、プリンセスー」ニッコリ友希。



「パパもこれ食べよっと。うぁーおいしー、う・うまい!!、カモリモリ、モリモリ君。大きくなってきたぞーエッフェル塔!! (TVおかあさんといっしょの「ジンジンジム」に出てくるポーズ)」 友「友希もたべる。モグモグ、モリモリくん、ウ・ウオー、カー エッフェルとうー!!」ニッコリ友希

ハハハーこんなもんじゃー。いつでも気持ちよく生活するっていいことです。怒らず、イライラしても10かぞえたらスッキリ。まァ、そりゃ「誉め殺し」もきかない時もあるけど。それもまた子育てのたのしい所。なんといっても娘をかわいいと思う心と、仕事できたえた演技力。芝居がかって、かみさんに「くどいー」「濃いー」と言われながらも、パパは保父さん。はずかしさはまったくありません。そう言うかみさんも一緒にやってるんだよー。夫婦は似るものです。ハイ。

そして、いつものかみさんの一言。「一日中一緒にいるのとはわけがちがうんだよ」ごもっとも。ハイ、それまでよー。だからオレが気分をパーとさせてるのです。えらいパパしゃんなのでした。

PS.

前号の別府さんの記事、楽しく読ませて頂きました。あの三次会、久しぶりに刺激のある又、為になった酒でした。今後の機関誌での交流、そしてまたぜひお会いしてたのしいひとときを共に過ごしたいと切に願っております。

今回は特大号！！

妻、恵美子より一筆ございます。（そうか、だから特大号なんだー）

『パパは保母さん』特大号によせて

専業主婦 妻 恵美子

「パパが保母さん うらやましい～何でもやってくれるでしょう。いいなァ。」と新しくできた子育て中ママ達に必ず言われるひと言。その通り、豆（のように）動いて友希のお世話を喜んでやってくれる。2歳を過ぎてからは、もう眼の中に入れっぱなしで生活している。「ファーストキスは俺だ！」と人に自慢し、「成人式の前日までは一緒に風呂に入る！」と豪語、父親の



将来を思うと涙をぬぐわずにはいられません。

こうして、ただの親バカをしているように見えるパパも、身についた保父の血は時々うずき、新米ママを無口にさせるのだった。（私は怒ると無口になる。）一歳になるまでは、パパの方が乳児保育にベテラン、離乳食の量からスプーンの口への運び方、スプーンそのものの型まで、育児書よりはるかに詳しい。しかし、細かすぎて自由がきかない。「そんなに言うなら、全部やってよ！」そんな言葉を心にいっぱいためていた。そんな私にパパも太いまゆ毛を寄せて無口にその場を去ることもあった。今では、友希がよくしゃべり、歌い舞い踊り、大さわぎでそれどころではない。パパをまね、お腹に力を入れて「オナラブーッ」をする姿は、吹きだすおもしろさ！パパと友希は臭い絆で結ばれているようである。パパのひざの上に座り、童謡の本を見ながら「これ歌って」の言葉に応えて、歌う姿はもう絵に書いたような親子像である。でも、その後悪夢がおそう。今度は、友希が横に座り、パパが友希を包むように手をまわすと、「なかよくしないで。」とつぶやき手をよける我が娘。そのことを悲しげに私に語るパパ。パパは何とけなげな存在なのだろう。「パパよ！こんなことにめげず、大いに笑おう！もっと悲しい現実は二十数年後にやってくるのだから……」

友希にとって、よく遊んでくれるパパはベストフレンドでもあり、仕事でいない間にあった出来事を一番に伝えたい大切な存在。トイレで排泄ができて、ほめれば、「パパに言わなければね。」と話し、小さな雪ダルマを作れば「パパに見せよっか。」、私がパパ宛のパー

ステーカードを書けば、友希語で「パパ、おたんじょうびおめでと。う。」と書き綴り、「パパに書いたの。」と自慢気に話す。
カワユーイ（私も親バカ）

これから友希は、保父パパと保母ママの背中を見てどう育つのだろう……。ギュッ！

最後にパパへ

こうして日々、何不自由なく幸せに過ごしていただけるのもパパのおかげと感謝しています。

「パパ、いつもありがとう！」

— ほめ殺し屋ゴルゴ29より —

「保育者になろう！」Part4 藤原君時期はずれでごめんなさい 事務局よりのお詫び

日中は暖かく、雪も少しずつ溶けはじめ、春の足音とともに土くさい春のにおいがムーン し はじめましたネ！

年度末でみなさん忙しいと思いますが『ガッツ』で乗り切っていきましょう。（時期がずれて心が痛い事務局です）

さて今回は番外編ということで私の趣味について書いてみようかなと思います。（別に興味ないと思いますが・・・）

私の前までの記事で読んでくれて知っている方もいると思いますが、

1. 「スポーツ観戦」 ~わたるさん いつか“大リーグ”見に行きましょうネ!!
2. 「野球（する事）」 ~かつさん 朝野球楽しみにしていますよ!!
3. 「釣り」 ~西村さん 又、釣りに行きましょうネ!!
4. 「競馬」 ~家村くん 今年のG1いっぱい当てようネ!!

と、保父会のメンバーと話が出来、とっても嬉しく思っているのです。

「あっそうだ！」あと

5. 「F1」も大好きです。（三村さんいつかカートに乗らせて下さいネ!!）

まあ こんな感じで、私のほとんどの趣味ではお話しができ、楽しんでいるのですが、ひとつお話しが出来ないのがあるので
す……。それは『ダンス』～ 一度 保父の会で変な口ポットくんしましたよネ……。覚えている方いますか？。

というわけで今回は趣味の『ダンス』について書きたいと思います。

毎回毎回私の記事で出ている私の体重のこと……。

たしかに中学で野球をやっていた頃は……。よかったです。が 中体連終わるやいなや「でぶー」の私に戻っていたのでした。（それもリバウンドつきで）そして、高校でも「でぶー」の私はパワーアップし、手をつけられない程だったのです……。それが短大に入り、『ダンス』というものを知り、ダイエット気分で始めたのがきっかけで、どんどんはまりこみ……。という流れで趣味となったわけです。もちろんダイエットの効果はバツグンで最大70Kg“超”だった私が、最少で56Kgにまで体重が下がったのですからビックリです。（超～高校時1度70Kgを超え、それ以来半年近く体重計に乗らない時期があったので、どれくらい“超”なのか わ・か・り・ま・せ・ん・の・だ）

まあ そんなわけ（どんなわけか？）で、今も『ダンス』にはまっているのです。で、昨年も出ましたが、今年も6月に行われているYOSAKOIソーラン祭り参加しようと思っております。

チーム名“ワールドウェーブ”というチームで参加します。

私のダンスをやる前の私は、“祭り”とあると、「参加したい！」と思っても「やっぱり見てよ」という引っこみなヤツ（今でも変わらないという声如山ほど聞こえそう……。）だったのだが、ダンスをはじめて、「ちょっと人の前に出てみようかなー」という人間になったのです。（ほんと！？）

あっ！もっともっといっぱい書きたいんだけど、と~~~~~ってもねむくなってきたので、次回か、いつかにしよーっと（適当でスミマセン）というわけで、『ダンス』好きな私です。

発寒ひかり保育園 藤原 淳二

“復活”メールがきました

Subject:

Date: Mon, 11 May 1998 00:39:11 +0900

From: 小田 進一 <kunkun@msf.biglobe.ne.jp>

To: "ja8isl@bc.mbn.or.jp" <ja8isl@bc.mbn.or.jp>

快気祝い

皆さんお元気ですか。全く信じられないことにこの忙しい年度代わりの二か月を、一人ぼんやりと過ごしました。心中焦りはとぐろを巻いていたのですが、いかんせん身体気力とも回復には時間が必要なようです。警沢を覚えつつ、文字通り「無理せず体を慣らしながら」新しい職場に出ようとしています。椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血と言うことで開頭手術を受けました。幸い後遺症も認められなく、体力の回復を待つのみです。この間、意識明瞭ながら集中治療室で過ごした二週間など、得難い体験を記したいところですが、キーボードに久しぶりにふれたような有様で仕事が思うに任せません。機会を改めてと言うことにして、ご心配いただいた皆さんに、どうにか生還し社会復帰の見通しがついたことをお知らせしこれからも保育の道を歩む同士として親しく交わり深めていただきたく、一言ご挨拶までと致します。

五月佳日

小 田 進 一

独断でこのメールを大阪・東京に転送しました。(事務局)

お詫び(10周年記念パーティー出欠ハガキの件)

1998/05/11現在 昨年の12月31日到着分のハガキ3枚、出てまいりました。しっかりと、しまい込んでいました。

改めて皆様にお詫び申し上げます。

遅ればせながら、掲載致しますのでお手数をかけますが、切り取って10周年記念誌に貼っていただければ幸いです。

本当に申し訳ありませんでした。

昔があって今がある。今があって未来がある。

今までたくさんの人達の努力の積み重ねが今の現状を作っているし、また、これから先の保育を変えていくのは、今現在の努力の仕方だと思います。たくさんの方々からの様々な応援があって今の自分があることを感謝し、これからも自分なりに努力していきたいと思えます。

歩いて、立ち止まっても、ころんでも、保育の道は人それぞれに、――みんな頑張ろう！

長南 雅雄

北海道の子供と保父の会、10周年おめでとう御座います。少しずつではありますが、保父は全国的に増えてきていますが一方で、5年以上勤めていた人がやめていく現実があります。4月からの法改正！現場から、もっともっと声があがって良いのに、という思いでいっぱいです。つまりは、働く側の身分保障の問題もある・・という事です。もちろん法改正にともなう保育所としての最低基準がかわり、合理化のもとに細やかな保育対応が出来なくなる事は、はっきりしています。法のしほりetc.と様々な問題を保育者として、どうとらえていくのか？神奈川の仲間と共に責

団体の皆様と、考えていかなければなりませんネ！

井坂 直人

子供のようになりたくて・・・

最近やっと親らしくなれてきたような・・・いやいや、まだまだ、青二才か

子供を育てていくうちに徐々に親になっていくのだろう。これでいい といった答えなど どこにもないはず。すべてが手さぐりではじまる。育児という名の育自マニュアルなどどこにもなく自分たちで創りあげていかななくてはならない。長くて、時には苦しくもあり時には楽しくもある子育て。子供たちが大人をつくり出した社会に旅立つのである。大人の責任をもう一度かみしめなければ・・・子供のように素直な心をもたなければ……

船山 利洋

事務局より

平成10年度の年会費を受付ています。

事務局宛郵送か、銀行振込でよろしく。

銀行：北海道銀行 [redacted] 支店

口座： [redacted]

名義：北海道子供と保父の会

From Editor

なんだか今回はお詫びばかり。

最近、なあ～んも出来ない・やらない・したくない。

丸太のようにゴロゴロしていたい。

掃除洗濯食事の支度、ア～めんどくさい。

度量も力量もないくせに、なんでも引き受けちまった自分にバカ！

考えるのや～めた。そのうち(。。。。)

桑原さん、「元祖保父男くんは性器いぢりで終わりかい？」



事務局 001-0020 札幌市北区北20条西3丁目19番地 幌北中央保育園内

011-716-1841 Fax 011-716-1852

北海道の子どもと保父の会

三村 信行

TEL&Fax [redacted]